

【今更聞けない、、、細胞表面抗原のスクリーニングってできる??】

フローサイトメトリー実験に関する、今更聞けない質問にお答えする「今更聞けない、、、」ですが、今回は細胞表面抗原のスクリーニングについてお話しします。

表面抗原タンパク質はそれぞれ様々な役割を持っていることが研究されているため、新規の細胞が発現している表面抗原を確認することは、その細胞の性状や生理学的な役割を知ることに役に立ちます。

しかし、今更聞けないシリーズの初回（[第1回：今更聞けない、、、CD抗原とは???](#)）に書かせていただいたように、細胞表面に存在するたんぱく質であるCD抗原はHLDA workshopにて審査・認定されており、認定済みの細胞表面抗原タンパク質だけでも、371種類あります（つまり、CD371まで割り振られています）。

フローサイトメトリー実験にて多重染色を行おうと思っても、同時に染色できる抗原数はせいぜい50種類までですし、抗体1本5000円だったとしても、、、CD1～CD371まで確認しようとなると、180万円以上かかってしまいます。

そのような時は、スクリーニングキットと呼ばれる、抗体キットの出番です。

いくつかの会社から販売されており、測定できる項目数や標識されている蛍光色素が異なりますので、ご自身の興味ある抗原や使用予定のフローサイトメーターに合ったキットを選択してください。



BioLegend 製品 スクリーニングキット：[LEGENDScreen™](#)

「今更聞けない、、、」シリーズ 記事まとめページは[こちら](#)